

2026年3月期 第3四半期 決算説明資料

2026年1月30日
株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

目次

1. 第3四半期決算概況及び通期業績見通し	---	2
2. 成長施策進捗	---	9
3. 参考資料	---	19

2026年3月期第1四半期決算資料より、ラボサイトのブランドを訴求した事業展開をさらに強化・発展させ、事業内容をより明確に表現するため、報告セグメント名称「研究開発支援事業」を「ラボサイト事業」に変更しています

【用語の説明】

ジェイス	患者の皮膚組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養表皮（再生医療等製品）
ジャスミン	患者の皮膚組織を採取し、分離した細胞とメラノサイト（色素細胞）を培養して製造された自家培養表皮（再生医療等製品）
ジャック	患者の軟骨組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養軟骨（再生医療等製品）
OA	変形性膝関節症
ネピック	患者の角膜輪部組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養角膜上皮（再生医療等製品）
オキュラル	患者の口腔粘膜組織を採取し、分離した細胞を培養して製造された自家培養口腔粘膜上皮（再生医療等製品）
ラボサイト	実験動物を用いた皮膚刺激性試験等の各種試験に代用可能な研究用ヒト培養組織
EpiSensA (エピセンサ)	ラボサイトを使用して行う皮膚感作性試験法で、経済開発協力機構（OECD）ガイドラインに世界的な標準的試験法として収載

1. 第3四半期決算概況及び通期業績見通し

サマリー

足元の状況

今期見通しを下方修正

- ✓ 売上高2,210百万円
- ✓ 営業損失△550百万円

主要因

- ✓ ジェイス熱傷症例数の減少
- ✓ 受託案件収入の来期へのずれ

来期への成長基盤

来期への成長基盤構築は着実に進捗

- ✓ ジャックOA保険収載完了（1月～）
- ✓ ジャスミンの拡販進捗
- ✓ ラボサイト海外展開進捗



→「ジャックOA適応拡大」を収益ドライバーとして
リソース集中し、来期黒字化を再目標に設定

2026年3月期 第3四半期決算及び通期業績見通し

- ✓ 3Q累計実績 売上高は1,509百万円（前年対比△196百万円）、営業損益は△563百万円（前年対比△231百万円）
- ✓ 通期業績見通し 売上高は2,210百万円、営業損益は△550百万円の見通し

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2025年3月期	2026年3月期					
	3Q 累計実績	3Q 累計実績	対前年同期		通期業績見通し		
			増減額	増減率	修正前	修正後	増減額
再生医療製品事業 売上高	1,056	955	△100	△9.5%	1,770～1,970	1,360	△410～△610
皮膚領域（ジェイス、ジャスミン）	656	571	△84	△12.9%	1,130	805	△325
軟骨領域（ジャック）	296	301	4	1.5%	400～600	455	55～△145
角膜領域（ネピック、オキュラル）	103	83	△20	△19.5%	240	100	△140
再生医療受託事業 売上高	477	346	△131	△27.5%	810	550	△260
一般顧客受託（親会社以外からの受託）	279	187	△91	△38.6%	430	300	△130
帝人受託	198	158	△39	△20.0%	380	250	△130
ラボサイト事業 売上高	172	207	34	20.3%	320	300	△20
売上高合計	1,706	1,509	△196	△11.5%	2,900～3,100	2,210	△690～△890
売上総利益	1,000	835	△164	△16.5%	-	-	-
販売費及び一般管理費	1,331	1,398	66	5.0%	-	-	-
営業損益	△331	△563	△231	-	100～200	△550	△650～△750
経常損益	△330	△552	△222	-	110～210	△540	△650～△750
四半期純損益	△350	△556	△206	-	100～190	△540	△640～△730

2026年3月期 第3四半期決算の概要

3Q (4-12月) 実績

外部環境
要因

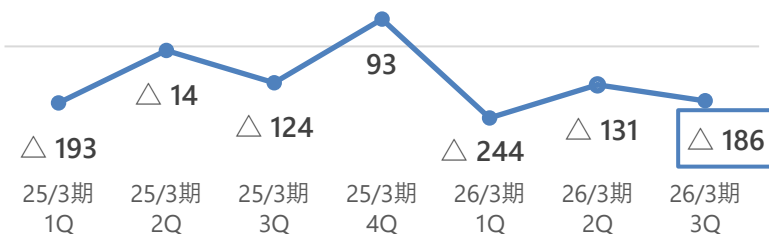
- ✓ ジェイスは熱傷の**対象症例数の減少により減収**（過去推移より波あり、競合や医療機関の治療方針変化が主因ではない）
- ✓ 受託事業は**前期の一時収入分が今期ゼロの影響で減収**

自助要因

- ✓ ジャスミンの**施設拡大により症例数が増加**
 - ✓ ジャックは**OA適応拡大の保険収載を達成**（4Qより売上貢献）
 - ✓ ラボサイト事業の**海外展開が進捗**
- **自助要因での増益を確保、収益基盤構築が進捗**

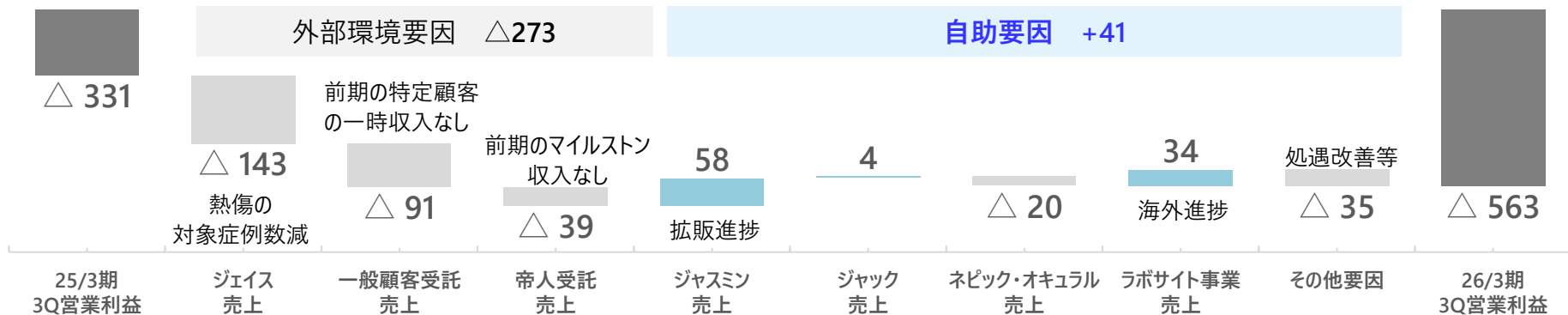
営業利益推移（四半期）

(百万円)



営業利益増減（前年同期比）

(百万円)

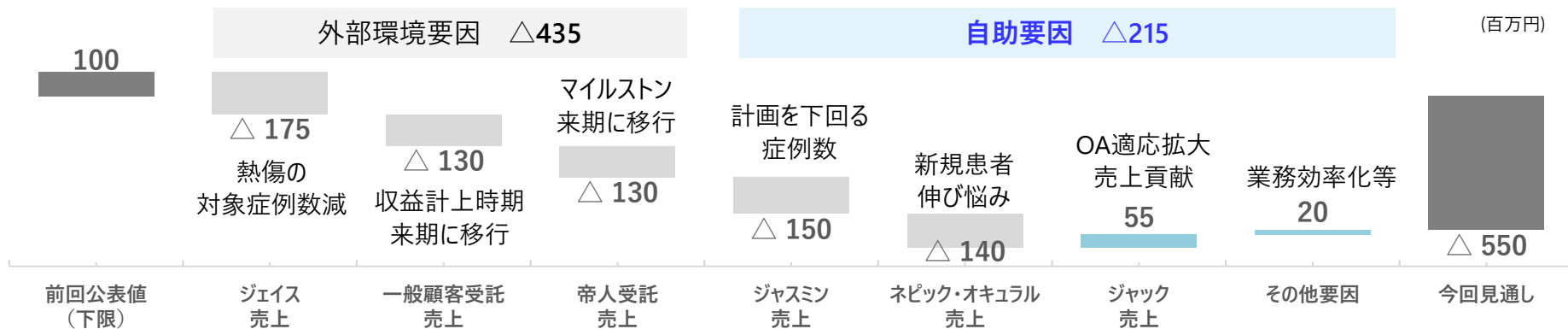


2026年3月期 通期業績見通しの概要

主な要因		来期黒字化に向けた対策
外部環境 要因	①ジェイス熱傷の対象症例数の減少	① 過去推移から波があり一過性と捉え、周知活動に注力
	②受託案件の収益計上時期が来期に移行	② 来期で確実に収益化出来るよう連携強化
自助要因	③ジャスミンの症例数が当初計画を下回る推移	③ 拠点拡大は順調、市民講座等で患者啓発強化
	④希少疾患を対象とするネピック・オキュラルの新規患者数が減少	④ 新規施設の開拓や潜在患者への治療啓発を推進

→「ジャックOA適応拡大」を収益ドライバーとしてリソース集中し、来期黒字化を再目標に設定（予想値は4/30開示予定）

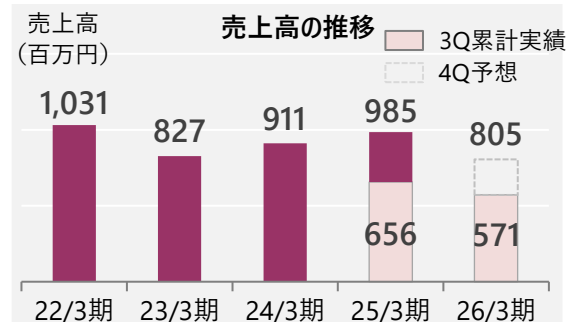
通期営業利益（前回公表差）



再生医療製品事業の業績概要

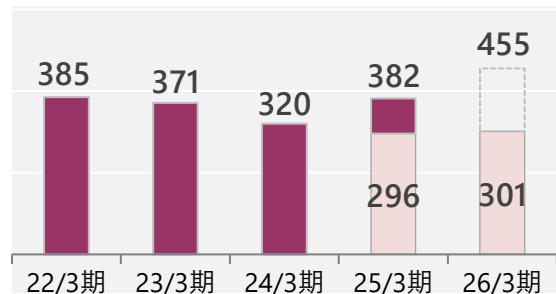
皮膚領域

- ✓ ジェイスは、熱傷の対象となる対象症例数の減少（過去推移より波があり一過性）1月に入り受注は回復傾向にあり、地方会などで情報提供を強化
- ✓ ジャスミンは、全国的な拠点施設の拡大と患者啓発活動展開により、着実に拠点施設の拡大は進んでいる。治療キャパシティの制約や候補患者が想定よりも少ないこと等により、計画からは遅れ。Webを活用した情報発信や、2026年2月に実施する市民公開講座などにより、対象患者への認知度向上を目指す
- ✓ 自由診療展開は、きずときずあとのクリニック®での培養表皮提供が継続



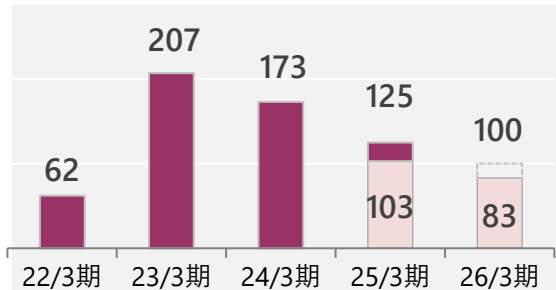
軟骨領域

- ✓ ジャックは、2026/1/1で変形性膝関節症（OA）適応拡大の保険収載を達成
- ✓ 有効性・安全性を訴求する医療機関への説明会などにより、使用可能施設が順調に拡大（52施設）、全国の各施設において、1月よりOA症例への製造が開始された



角膜領域

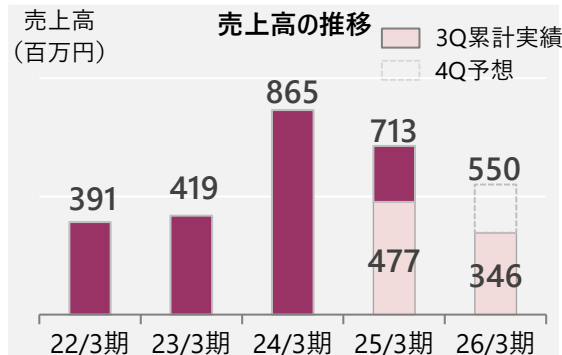
- ✓ ネピック・オキュラルは、対象となる希少疾患（角膜上皮幹細胞疲弊症）に対して、治療に踏み切る患者が減少
- ✓ 販売を担う(株)ニデックとの連携により、新規施設の開拓や潜在患者への治療啓発を推進



再生医療受託事業・ラボサイト事業の業績概要

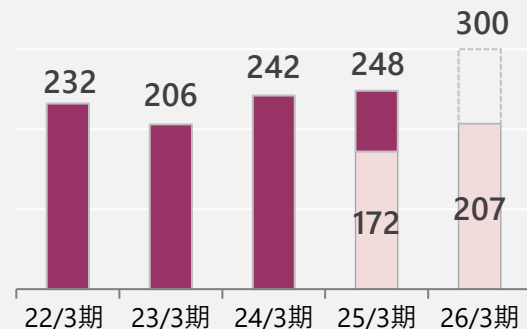
再生医療受託事業

- ✓ アクチュアライズ(株)では、国内第Ⅱ相臨床試験における被験者への投与完了し、次の受託案件に向けて協議中
- ✓ (株)VC Cell TherapyとiPS細胞による再生医療製品の実用化に向け、開発支援を継続
- ✓ (株)メトセラが開発する機能的単心室症を対象とする製品の治験製品製造が順調に進捗
- ✓ AlliedCel(株)が開発中の「誘導型抑制性T細胞」について、上市後の製品製造を当社が受託することを前提とした業務委受託契約を締結し、受託案件が進捗
- ✓ 帝人は経産省の補助金を活用した拡張や連携体制の強化が進捗
- ✓ 帝人リジエネットの顧客獲得は進んでいるものの、マイルストンの達成が来期に遅れ



ラボサイト事業

- ✓ 欧州でのEpiSensA（エピセンサ）への関心は高く、顧客数は拡大、継続受注の獲得・本格展開に向け活動を強化中
- ✓ インドにおいて、表皮モデルに加えて角膜モデルへの関心は変わらずに高まっており、現地ニーズに応じた営業活動を積極的に展開中



2. 成長施策進捗

成長施策進捗：ジャックOA適応拡大

国民病をターゲットにしたジャックOA保険収載を变化点に

- ✓ 再生医療を「特別な治療」から「身近な治療」へ
- ✓ 長期ビジョン「再生医療をあたりまえの医療に」の実現へ



これまでの再生医療

- 希少疾患
- 救命・緊急医療
- 新しい・特別な医療

「ジャック」適応拡大が
ドライバー

数年でのターゲット

▶ 年間1,000例

売上規模

▶ 約30億円



これからの再生医療

- 国民病
- 慢性・重症化前
- 身近な医療

ジャックOA適応拡大の意義

- ✓ 軟骨の損傷はOAの重症化につながり、患者や家族の負担になり得る
- ✓ 軟骨は、一度損傷すると自然に治る可能性は極めて低い



- ✓ 日本初の軟骨自体を修復させる製品
- ✓ 自家細胞由来であり拒絶反応が極めて少ない
- ✓ 他の治療を諦めていた患者へ、新たな選択肢

ジャック適応条件

変形性膝関節症と
診断された患者

保存療法（運動・薬物）
で改善しない

軟骨欠損面積
2cm²以上

※患部周辺に正常軟骨が
一定以上残存している患者に限る



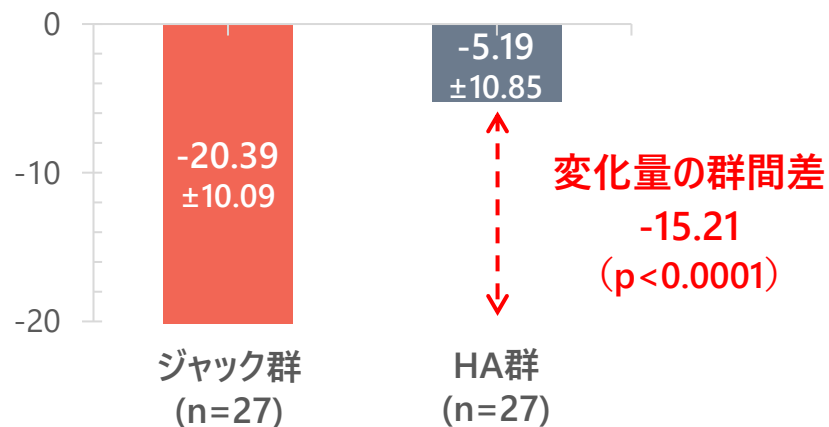
適応対象

成長施策進捗：軟骨領域 ジャックOA適応拡大

✓ OAの既存治療（ヒアルロン酸ナトリウム製剤；HA）に対し、**治療効果の優越性を確認**

有効性①：痛み・機能改善

治療開始後52週のWOMACスコア※1の変化量

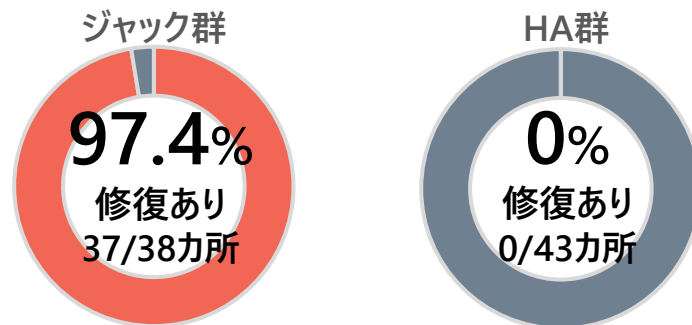


※1 WOMACスコア：

OAの治療評価判定として国際標準で用いられるスコア
患者自身で「痛み・こわばり・身体機能」を評価
指標は変化量（△）で、**負の値ほど改善**

有効性②：正常軟骨と同様の組織※2の修復

※2 硝子軟骨様組織



移植前

移植6ヵ月後

移植1年後

OAに対する「ジャック」移植後の軟骨修復の経過
(硝子軟骨様組織の修復が認められた代表例)

成長施策進捗：ジャックOA／ジャスミンの拡販状況

対応可能施設の進捗

(2026/1/30時点)

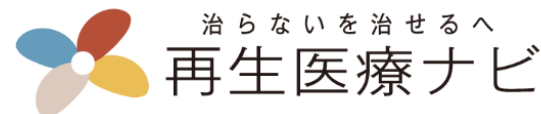
ジャックOA

既存適応で約**160**施設が手術経験あり
うち、
OA対応可能施設**52**施設まで契約進捗
OAの受注が順調に入り始めている

ジャスミン

対応可能施設**11**施設まで契約進捗
(今期目標20施設は達成見通し)

患者啓発



- ✓ 患者向けWebサイトを分かりやすく刷新

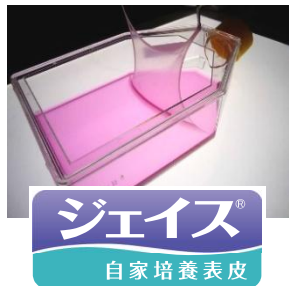


- ✓ 市民向け公開講座など患者啓発を加速

成長施策進捗：皮膚領域 Allo-JaCE03（同種培養表皮）の開発状況

- ✓ 承認申請に向けて最終段階に来ており、**今年度中に承認申請**を予定
- ✓ 長期保存製品の特長を活かして、**ジェイス適応とまらない中等度熱傷への拡大**により、売上拡大する

自家培養表皮ジェイス



細胞を**同種（他家）**に

- ✓ 適応範囲の拡大
- ✓ 機械化による大量生産
- ✓ 長期保存可能
- ✓ 海外展開も視野

乾燥同種培養表皮 Allo-JaCE03

健康なヒト（同種）皮膚組織由来の表皮細胞シートを乾燥させた製品



治験時の情報

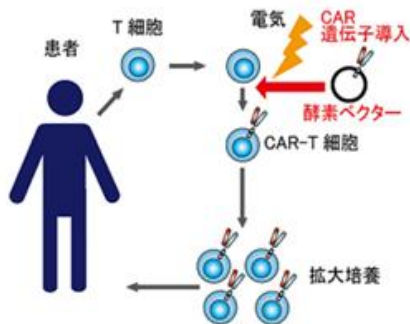
項目	内容
対象疾患	皮膚欠損創 (熱傷創・採皮創・皮膚潰瘍など)
使用目的又は効果	創の上皮化促進、創面の保護、感染の防止、疼痛の軽減等

成長施策進捗：新規領域 JPCAR019（自家CAR-T細胞）の開発状況

- ✓ JPCAR019（自家CAR-T細胞）の実用化に向けて治験が進捗

JPCAR019について

- ✓ 名古屋大学・信州大学とALL^{*1}を対象に特許ライセンス契約を締結した自家CAR-T細胞由来治療薬
- ✓ ウイルスを使わず酵素を用いた安価なベクターを使用するため、封じ込め設備もウイルス検査も不要で、**製造コストの削減が期待**



進捗状況

- ✓ **治験範囲が拡大**
NHL^{*2}に加え、ALL^{*1}でも名古屋大学にて医師主導治験を開始
- ✓ **当社の治験製造体制がフル稼働**
両疾患の治験製造、治験実施支援を継続中
- ✓ **患者の治療選択肢が広がる可能性**
既存では適応外の投与時26歳以上、移植後GVHDでステロイド投与中、髄外単独再発^{*3}の患者も対象

*1 急性リンパ芽球性白血病

*2 悪性リンパ腫

*3 骨髄以外の部位だけに再発した状態

成長施策進捗：再生医療受託事業

- ✓ 様々な細胞腫に関して、**複数の顧客と長期的な契約を見据えた受託**が進捗し、成長基盤を構築

(株)VC Cell Therapy	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 網膜変性に対するiPS 細胞を用いた他家製品 →資本提携し、セルバンクの作製、製品開発支援、薬事コンサル
(株)メトセラ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 単心室症に対する心臓内幹細胞を用いた自家製品 →治験製品製造
アクチュアライズ(株)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 水疱性角膜症に対する角膜内皮細胞を用いた他家製品 →治験製品製造、CRO業務
AlliedCel(株)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 生体肝移植後の免疫寛容誘導を目指した自家製品（誘導型抑制性T細胞製品） →上市後のCMOに向けた製品開発支援
独立行政法人 国立病院機構 九州がんセンター	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 成人T細胞白血病リンパ腫に対する末梢血由来樹状細胞を用いた自家製品 →薬事コンサル、治験製品製造

成長施策進捗：ラボサイト事業

✓ 海外展開活動が順調に進捗

欧州

- ✓ 定期購入5社まで進捗（今期目標8社）
- ✓ 需要に対応するため、欧州拠点の設立の検討が進捗

米国

- ✓ Institute for In Vitro Sciencesへの販売開始
（非動物代替試験の研究機関）

蒲郡

LabCyteインド

- ✓ 現地ニーズに応じた販売を展開中

成長施策進捗：開発パイプラインの上市目標

✓ 開発は着実に前進している

➡：進展

承認

保険収載

開発
パイプライン

適応症

上市
目標時期

基礎研究

前臨床試験

治験
(臨床試験)製造販売
承認申請製造販売後
対応

産学 連携 資本 提携	新規 パイプライン 創出	皮膚	ジェイス [®] 自家培養表皮	重症熱傷	上市済						
			適応拡大	先天性 巨大色素性母斑	上市済						
			適応拡大	表皮水疱症	上市済						
			ジャスミン [®] メラノサイト含有自家培養表皮	非外科的治療が無効又 は適応とならない白斑	上市済					24/10 保険収載、販売開始	
			他家(同種) 培養表皮	熱傷を含む皮膚欠損	2027年3月期 ^{*1}			24/7 治験終了届提出		(今期の承認申請に 向け順調)	
		軟骨	ジャック [®] 自家培養軟骨	外傷性軟骨欠損症 離断性骨軟骨炎	上市済						
			適応拡大	変形性膝関節症	2026年3月期					26/1 保険収載、販売開始	
		角膜	ネピック [®] 自家培養角膜上皮	角膜上皮 幹細胞疲弊症	上市済						
			オキュラル [®] 自家培養口腔粘膜上皮	角膜上皮 幹細胞疲弊症	上市済						
		がん	自家 CAR-T細胞	急性リンパ性 白血病	検討中 ^{*2}						悪性リンパ腫に対する医師主導治験の治験製品製造中 加えて、急性リンパ性白血病に対する医師主導治験を開始

*1 開発遅延に伴う上市時期見直し

*2 治験を当社主導ではなく医師主導で実施することとなり、全体スケジュールを検討中の為

3. 参考資料

2026年3月期 リリース一覧

リリース日付	内容
4月3日	再生医療イノベーションフォーラム（FIRM）の再生医療等製品CDMO企業リストに掲載
5月13日	自家培養軟骨「ジャック」が変形性膝関節症への一部変更承認取得
5月20日	資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ
5月21日	一般社団法人Medical Excellence JAPANのニュースレターで紹介されました
6月13日	AXIA EXPO 2025（新あいち創造研究開発展2025）に参加しました
6月17日	インターフェックスWeek東京（再生医療EXPO）に出展します
6月18日	大阪・関西万博において再生医療に関する展示・体験イベントを開催します
7月1日	報告セグメントの名称変更に関するお知らせ
7月23日	再生医療CDMOに関する補助金の採択と事業基盤の強化
7月31日	ラボサイト製品を用いた皮膚刺激性試験法が国際規格「ISO 10993-23」に収載
9月18日	「海外販路開拓支援事業補助金」の採択に関するお知らせ
9月25日	J-TEC CDMOセミナー2025開催のお知らせ
10月28日	AlliedCel社と開発品の商用生産に向けた業務委受託契約を締結
11月4日	白斑に関するドクターインタビューを公開
12月29日	自家培養軟骨「ジャック」変形性膝関節症への適応拡大：保険収載のお知らせ

2026年3月期 3Qセグメント別営業損益 及び 貸借対照表

セグメント別営業損益

全事業セグメント黒字を維持

単位： 百万円 (百万円未満切捨て表示)	営業損益			要因
	2025年3月期 3Q累計実績	2026年3月期 3Q累計実績	増減額	
再生医療 製品事業	109	5	△103	ジェイス熱傷の対象症 例減少
再生医療 受託事業	243	185	△57	特定顧客の前期一 時収入が今期ゼロ等
ラボサイト 事業	48	46	△2	海外展開の為の 営業リソース強化
調整額	△733	△801	△67	Allo-JaCE03開発費 の増加等
合計	△331	△563	△231	

貸借対照表

十分な現金と純資産があり、健全な財務体質を維持

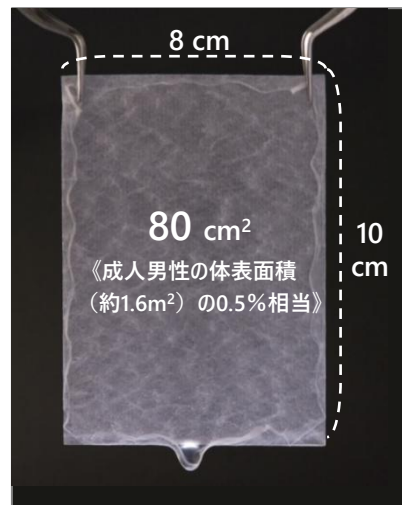
単位：百万円 (百万円未満切捨て表示)	2025年3月期 2025年3月31日	2026年3月期 2025年12月31日	増減額
現金及び預金	3,885	3,335	△550
その他流動資産	939	793	△146
固定・繰延資産	1,688	1,762	74
資産計	6,512	5,890	△622
流動負債	637	589	△47
固定負債	50	32	△18
負債計	687	621	△66
資本金	4,958	3,997	△961
資本準備金	2,788	1,827	△961
利益剰余金	△1,922	△556	1,365
純資産	5,825	5,268	△556
負債・純資産合計	6,512	5,890	△622

当社の再生医療等製品

✓ 当社の再生医療等製品は、**すべて国からの製造販売承認を取得し、保険診療のもとで提供**

製品	自家培養表皮 	自家培養軟骨 	自家培養角膜上皮 	自家培養口腔粘膜上皮 	メラノサイト含有自家培養表皮 
	国内第1号の再生医療等製品	日本発の技術による国内第2号の再生医療等製品	眼科領域で国内初の再生医療等製品	眼科領域で2つ目の再生医療等製品	患者さんが多い白斑治療用再生医療等製品
承認取得 保険収載	2007年10月 2009年 1月	①2012年 7月②2025年5月 ①2013年 4月②2026年1月	2020年 3月 2020年 6月	2021年 6月 2021年 12月	2023年 3月 2024年 10月
適応対象	① 重症熱傷 ② 先天性巨大色素性母斑 ③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症	① 膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎 ② 変形性膝関節症	角膜上皮幹細胞疲弊症	角膜上皮幹細胞疲弊症	非外科的治療が無効又は適応とならない白斑
保険 償還価格	✓ 採取・培養キット 4,460千円 ✓ 調製・移植キット 154千円 / 枚	✓ 採取・培養キット 1,000千円 ✓ 調製・移植キット 1,890千円	✓ 採取・培養キット 4,280千円 ✓ 調製・移植キット 5,470千円	✓ 採取・培養キット 4,280千円 ✓ 調製・移植キット 5,470千円	✓ 採取・培養キット 4,460千円 ✓ 調製・移植キット 154千円 / 枚
技術 導入元	米ハーバード大学 Howard Green 教授	広島大学 越智 光夫 教授	伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授	大阪大学 西田 幸二 教授	伊モデナ大学 G Pellegrini教授・ M De Luca教授

自家培養表皮ジェイス



適応対象

① 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象

② 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用

③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用

保険償還価格

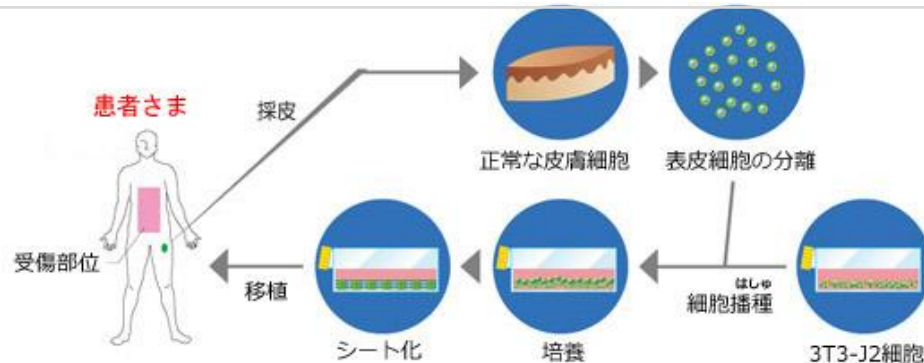
① 採取・培養キット：4,460千円

② 調製・移植キット：154千円/枚

算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。30枚（母斑）、50枚（表皮水疱症）

技術導入元

米ハーバード大学 Howard Green 教授



自家培養軟骨ジャック



適応対象

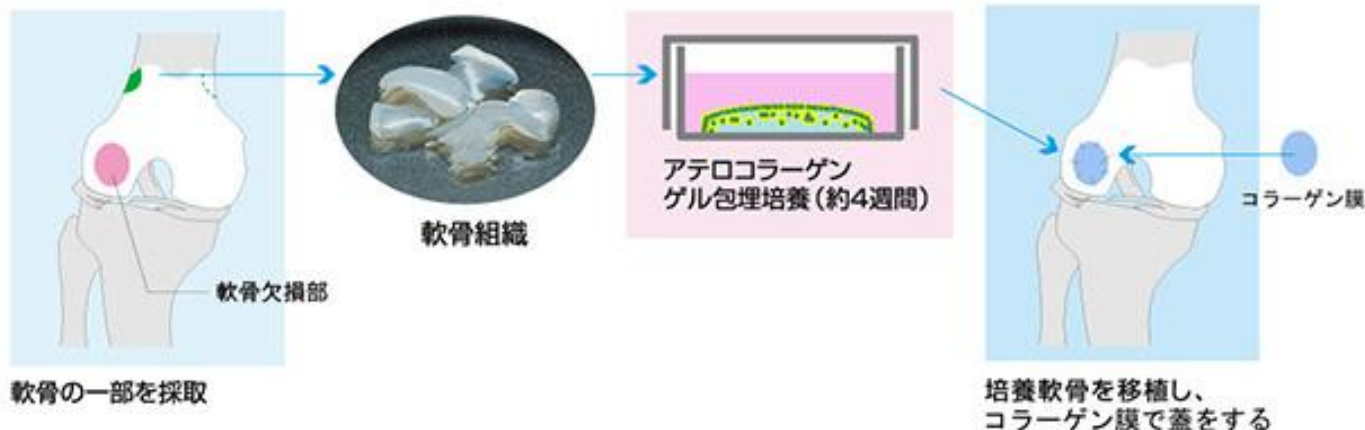
- ① 膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎の臨床症状の緩和。ただし、他に治療法がなく、かつ軟骨欠損面積が 4cm^2 以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る
- ② 変形性膝関節症に対する臨床症状の緩和。ただし、運動療法等の保存療法により臨床症状が改善せず、かつ軟骨欠損面積が 2cm^2 以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る

保険償還
価格

- ① 採取・培養キット：1,000千円
- ② 調製・移植キット：1,890千円（使用した個数に係らない）

技術導入元

広島大学 越智 光夫 教授



自家培養角膜上皮ネピック



販売：株式会社ニデック



適応対象

角膜上皮幹細胞疲弊症

ただし、以下の患者を除く

- ・スティーヴンス・ジョンソン症候群の患者
- ・移植片対宿主病の患者
- ・再発翼状片の患者
- ・眼類天疱瘡の患者
- ・無虹彩症等の先天的に角膜上皮幹細胞に形成異常を来す疾患の患者
- ・特発性の角膜上皮幹細胞疲弊症患者

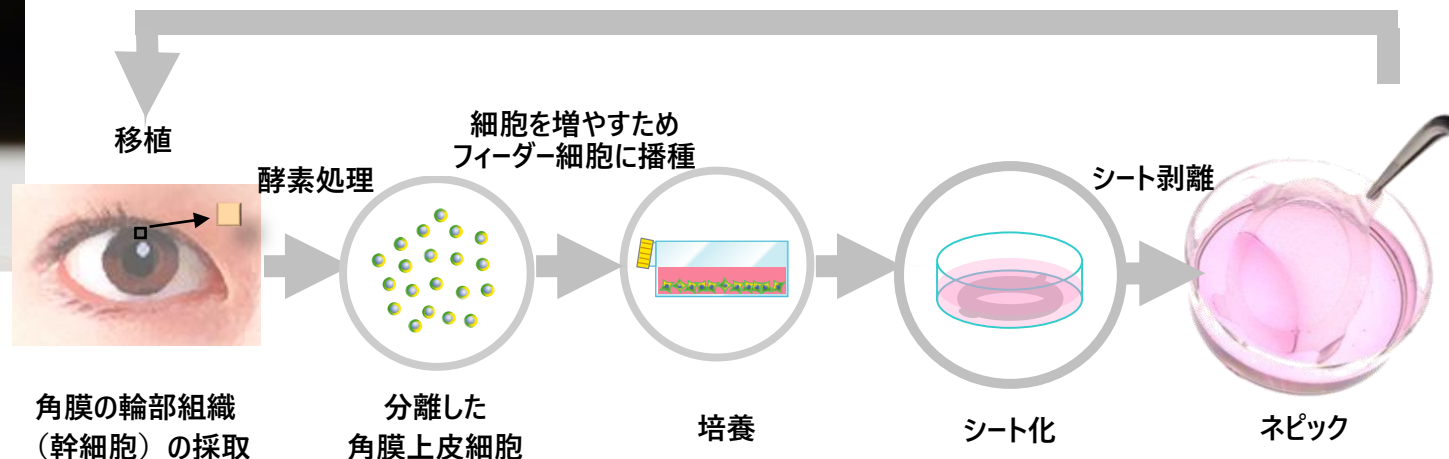
保険償還 価格

① 組織運搬セット： 4,280千円

② 培養角膜上皮パッケージ： 5,470千円

技術導入元

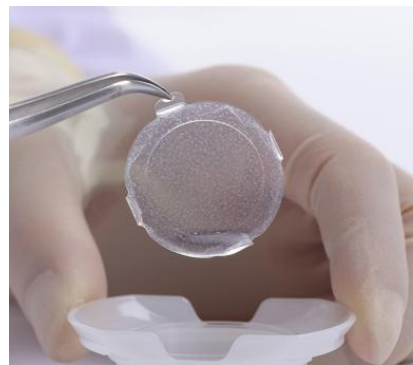
伊モデナ大学 G. Pellegrini教授・M. De Luca教授



自家培養口腔粘膜上皮オキュラル



販売：株式会社ニデック



適応対象

角膜上皮幹細胞疲弊症

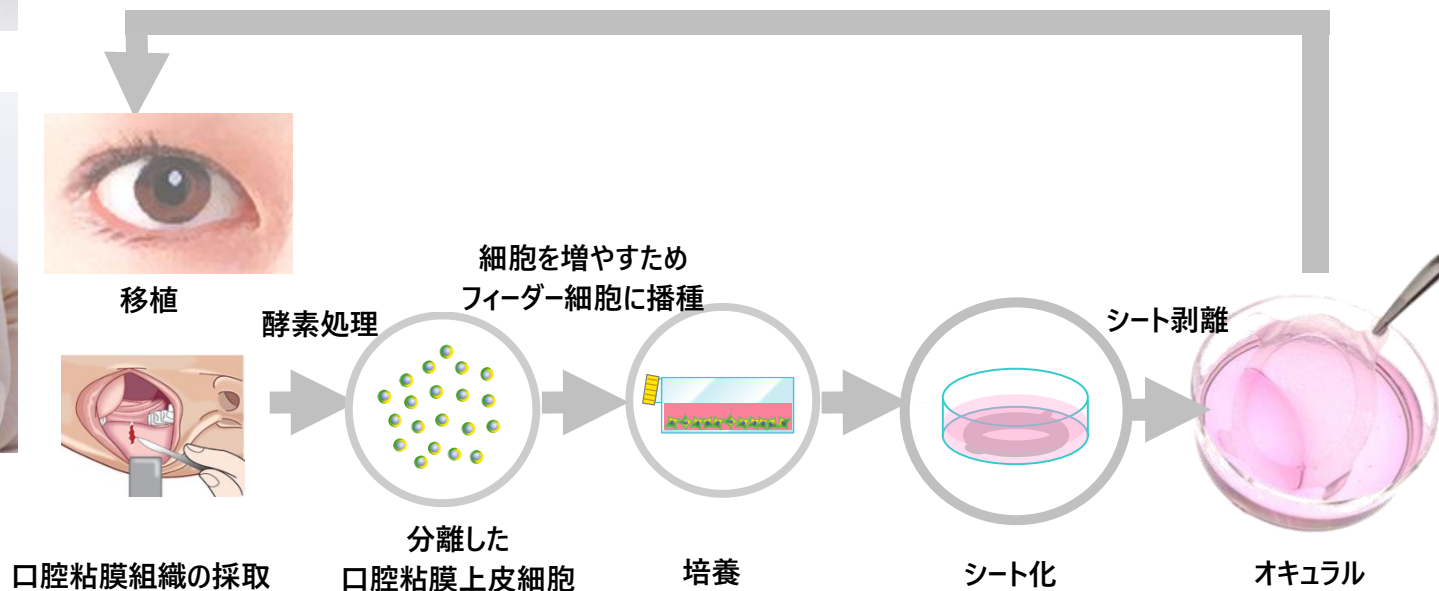
保険償還
価格

① 組織運搬セット：4,280千円

② 培養口腔粘膜上皮パッケージ：5,470千円

技術導入元

大阪大学 西田 幸二 教授



メラノサイト（色素細胞）含有自家培養表皮ジャスミン



適応対象

非外科的治療が無効又は適応とならない白斑

12ヶ月程度症状が固定した尋常性白斑、Vogt-小柳-原田病若しくは化学物質による完全脱色素斑、又はまだら症などの先天性異常による完全脱色素斑

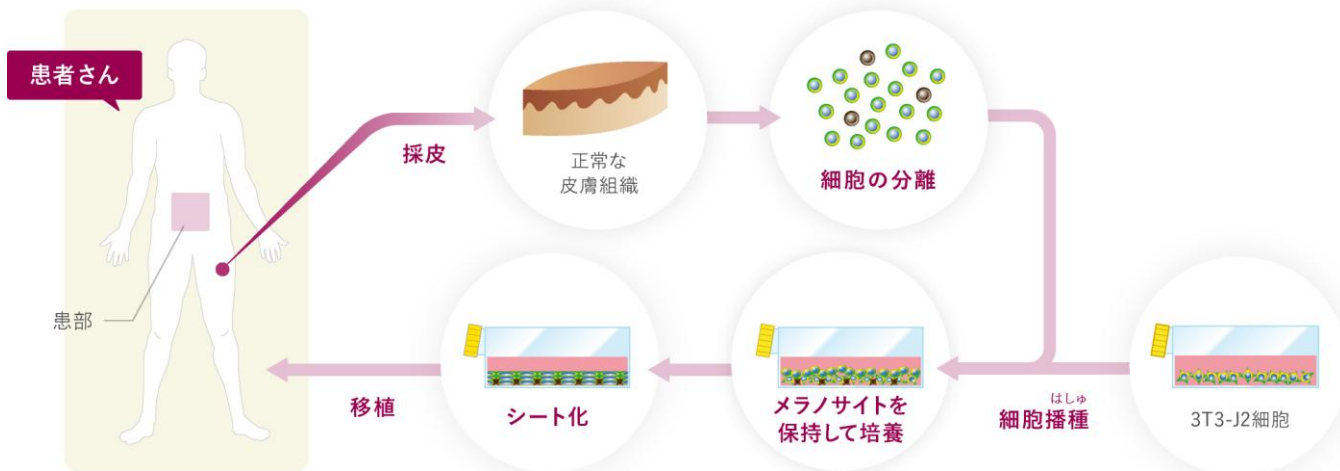
保険償還 価格

① 組織運搬セット：4,460千円

② 培養表皮パッケージ：154千円 / 枚

技術導入元

伊モデナ大学 G Pellegrini教授・M De Luca教授



再生医療受託事業のビジネスモデル

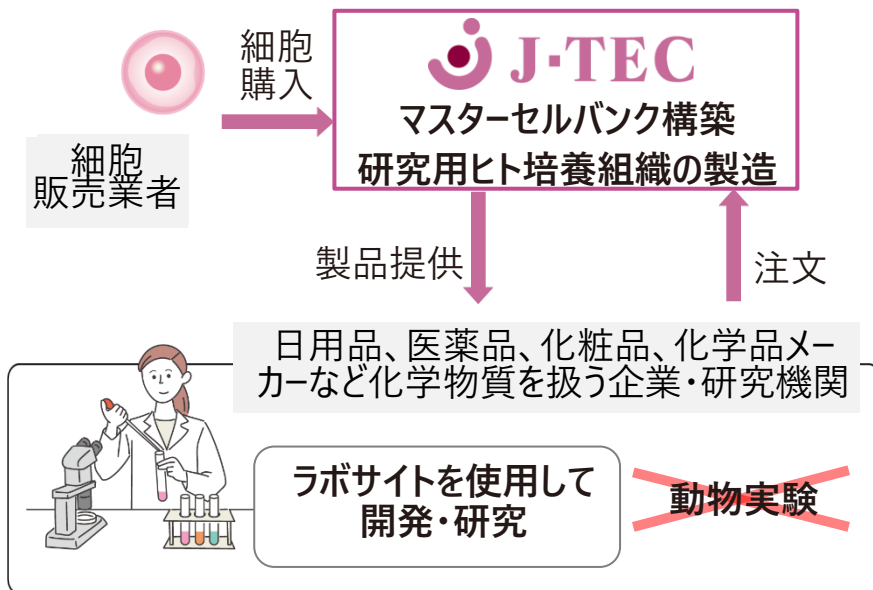
- ✓ これらの基盤やノウハウを活かし、**包括的な受託サービス**を提供します。
- ✓ 「**再生医療の未来を共に創るイノベーションパートナー**」として、お客様を伴走支援します。



ラボサイト事業のビジネスモデル

- ✓ 再生医療等製品の開発で蓄積した高度な培養技術を応用して、研究用ヒト培養組織「ラボサイトシリーズ」を販売
- ✓ 3次元構造を有するヒト培養組織であり、**外用医薬品や化粧品**の開発、**皮膚や角膜等を用いた基礎研究**に使用
- ✓ **世界初、ヒト3次元培養表皮モデルを用いた皮膚感作性試験法が標準化**
- ✓ 動物愛護の観点からの世界的な**動物実験代替**の潮流にも対応

流れ



	ラボサイト エピ・モデル	ラボサイト エピ・キット	ラボサイト 角膜モデル
製品	ヒト3次元培養 表皮	ヒト表皮モデル 作製キット	ヒト3次元培養 角膜上皮
OECD テストガイド ライン収載	皮膚刺激性試験 (TG439) 皮膚腐食性試験 (TG431) 皮膚感作性試験 (TG442D)	—	眼刺激性試験 (TG492)
ISO	医療機器の皮膚 刺激性試験法 (ISO10993-23)	—	—
販売開始	2005年3月	2013年4月	2010年7月

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含みますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: jtec-info@jpte.co.jp